

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

I 主要な会議

(1) 理事会

区分	開催日	議案等
書面	平成27年4月1日	常務理事の選任の件（書面表決）
通常 （第1回）	平成27年5月18日	① 平成26年度事業報告及び決算（案）の件 ② 定時評議員会の開催の件 〈報告事項〉 平成26年度資金運用の経過の件
通常 （第2回）	平成27年10月29日	〈報告事項〉 ① 平成27年度事業報告（上半期）の件 ② 平成27年度資金運用の経過の件
通常 （第3回）	平成28年2月2日	① 平成28年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件 ② 平成28年度資金運用の執行方針及び計画（案）の件 ③ 評議員会の開催の件
書面	平成28年3月23日	評議員会の開催の件（書面表決）

(2) 評議員会

区分	開催日	議案等
書面	平成27年4月1日	理事の選任・解任，評議員の選任の件（書面表決）
定時 （第1回）	平成27年6月3日	① 平成26年度事業報告及び決算について承認を求める件 〈報告事項〉 平成26年度資金運用の経過の件
定時 （第2回）	平成28年2月12日	① 役員（理事）の選任の件 〈報告事項〉 ① 平成28年度事業計画及び収支予算報告の件 ② 平成28年度資金運用の執行方針及び計画報告の件

II 事業報告

【公益目的事業会計】

1 屋久島環境文化村構想推進事業

(1) 環境学習

① 自主事業

ア 「自然・文化体験セミナー」

広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延 べ 参加者
まるごと屋久島研修講座(里)	島内一周解説（一湊集落散策，地場産業見学）	4月19日	25人
まるごと屋久島研修講座(森)	屋久島の自然散策（ヤクスギランド解説）	4月25日	12人
新緑の屋久島旅	万代杉トレッキング・西部林道観察	5月3日～5日	60人
水を感じるエコツアー	（荒天中止）	7月12日	—
子ども屋久島大冒険！	西部半山観察・安房川イカダ下り・野外炊飯	8月6日～9日	96人
秋の屋久島旅	大和杉トレッキング・草木染め	9月20日～22日	40人
秋風を感じるエコツアー	里山散策・野外炊飯	11月3日	19人
アウトドアボルダリング	ボルダリング	1月10日	9人
冬の身近な野鳥観察会	（荒天中止）	1月23日	—
みつけよう冬の屋久島	自然散策（白谷雲水峡）	2月11日	7人
1日焼酎製造体験	焼酎製造体験	1月29・30日	13人
冬の海を楽しもう！	ランプシェード作り	2月20日	18人
サイクリング&山菜狩り	（荒天中止）	3月6日	—
計	10回（実施）		299人

イ 「ふるさとセミナー」

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実施時期	延べ参加者
<研修センターオープンデー> 親子で楽しめる科学実験等の実施を行った。	理科実験・シロアリ実験 木工クラフト・スライム作り タンカンクリーム作り	6月20日	179人
<冒険しよう> 町内小学生を対象に、自然体験型環境学習の実施を行った。	キャンプ，野外炊飯	12月5日 ～6日	36人
<星空観察会> 星座や宇宙への関心を高めるため町内小学校で星空観察を行った。	・春の星空観察会（安房小学校） ・秋の星空観察会（一湊小学校） ・冬の星空観察会（永田小学校） ・部分日食観望会（宮浦小学校）	4月17日 9月28日 12月18日 3月9日	105人 102人 65人 30人
4回（実施）			302人
<出張研修講座> 町内の学校の要請を受け、授業の中で屋久島の環境学習を行った。	・一日遠足（黒味岳登山）の事前指導（岳南中学校）	9月17日	93人
<子どもエコ隊活動事業> 屋久島の小学校4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り屋久島の未来を担う人材の育成を図った。	・アピースオブフォレスト，野外炊飯 ・植物拓本，昆虫採集 ・里めぐり，門松作り，野外炊飯 ・クリーンサポートセンター見学，エコバック作り	6月13日 ～14日 8月4日 12月12日 ～13日 1月31日	42人 17人 36人 17人
4回（実施）			112人
<幼児環境教育推進事業> 島内未就学児の親子を対象に野外体験活動を実施し，幼少時代から環境意識を向上させる。	<屋久島こども森の遊び場> ・秋の森deおさんぽの会 ・焚き火deほっこりごはんの会 ・はじめての親子CAMP ・冬の森de焼き芋の会	10月10日 11月14日 12月26日 ～27日 1月16日	20人 36人 48人 32人
4回（実施）			136人
<親子deチャレンジキャンプ>	キャンプ，森の散策，野外炊飯	3月20日 ～21日	52人

ウ 「自然に親しむ集い」

環境省、屋久島町と共催で、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、島内在住者を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
第1回自然に親しむ集い	特定外来生物駆除作業	5月10日	49人
第2回自然に親しむ集い	小杉谷トレッキング	10月4日	6人
第3回自然に親しむ集い	アサギマダラマーキング会	11月9日	8人
計	3回（実施）		63人

エ 「インターンシップ」

茨城大学農学部資源生物科学科3年生の学生1名に研修センターで8月に職場体験を2週間実施し、インストラクターとして必要なスキルを学ばせた。

② 受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入れを行った。

区 分	団 体 数	延べ参加者
宿 泊 研 修	65団体	4,563人
一 日 研 修	33団体	761人
短 時 間 研 修	10団体	379人
計	108団体	5,703人

③ 屋久島高校環境学習・交流支援

自然の中で行われる学習活動（屋久島での里エコ体験、屋久島地質巡検、植物相・生態、民族文化等）を通じて、屋久島の自然環境への理解を深め、人と自然の関わりを考えることを目的に、屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

名 称	実 施 時 期	参 加 者
夏季研修	7月2日～3日	11人
秋季研修	10月20日～21日	11人
冬季研修	1月26日～27日	11人
計	3回（実施）	33人

④ 屋久島研究講座

屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	場 所	参加者
1	8月8日	「屋久島世界遺産地域科学委員会発表会」	九州大学 教授 他	村センター	50人
2	10月17日	「ウィルソンの写真が語る人と自然」	作家 古居 智子	鹿児島県立 図書館	63人
3 ～ 5	11月5日 ～8日	「黒潮をめぐる南西諸島の地質と成り立ち」 他 2 講演	筑波大学 教授 他	村センター	66人 150人 200人
6	3月6日	「日本の世界遺産の「遺産概念」と 地域振興」	鹿児島大学 萩野教授 他	村センター	40人
計		6回（実施）			569人

(2) 環境形成

① 環境保全活動支援事業

ア 「山岳部利用対策事業」

「荒川登山バス」の運行に対して協力するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し携帯トイレの利用促進を図るとともに、山岳部保全募金への協力・広報活動を行い、山岳部の環境保全に寄与した。

イ 「エコツーリズム支援事業」

屋久島町エコツーリズム推進協議会に参加し、協議会が認定する屋久島ガイドに対して、研修機会や情報の提供を通して資質の高いガイドの育成を図った。

ウ 「生物多様性保全研究活動奨励事業」

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる島内の団体に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容
東京大学大学院 新領域創成科学研究科	ヤクタネゴヨウ残存林分内に生息する菌根菌群種の解明
鹿児島大学森林政策学研究所	屋久島山岳地域における観光利用のあり方
広島大学大学院生物科学研究科 水圏資源生物学研究室	くちのえらぶ魚類図鑑
屋久島学ソサエティ	ヤクスギを含む古代杉についての情報交換
屋久島ラン科植物保全の会	シカに食い尽くされる前に照葉樹林のランを守れ
中京大学国際教養部	屋久島における動物の果実食と種子の二次散布の関係調査
鹿児島大学理工学研究科	屋久島の海岸植生の動態の研究
屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊	絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの自生地全生木調査の完遂と保全及び啓発
計	8団体

エ 「ガイドセミナー受託事業」

エコツアーガイドの育成，資質向上を図るため，ガイドセミナーを行った。

区 分	実 施 時 期	延べ参加者
赤十字救急法	1月6日～8日	39人
ガイドセミナー	1月21日～22日	49人

オ 「うみがめ保護対策事業」

<うみがめ保護遮光林維持管理>

うみがめの産卵環境を保護するため，遮光林の維持管理（施肥・除草・刈込）を行った。

実 施 期 間	委 託 先	実 施 場 所
9月上旬 ～ 1月30日	NPO法人屋久島うみがめ館	永田(いなか浜)， 一湊(一ツ浜，二ツ浜)

<海岸清掃>

「世界環境デーinいなか浜」に併せ，財団ボランティア及び職員がいなか浜の海岸清掃を実施した。

実 施 日	主 催 団 体	実 施 場 所	参 加 者
6月6日	NPO法人屋久島うみがめ館	いなか浜	174人

<マリンワーカー事業>

環境省から委託を受け，タイドプールや枕状溶岩など特徴的な磯及びうみがめが産卵する砂浜等の海岸景観を保持するため，海岸清掃を実施した。

実 施 期 間	実 施 団 体	実 施 場 所
12月1日 ～2月12日	永久保区	田代海岸
12月1日 ～2月12日	栗生区	大川海岸 塚崎海岸
12月1日 ～2月12日	一湊区	元浦 二ツ浜

② 屋久島動植物調査等事業

屋久島の動植物等の調査結果を，環境学習や自然観察用の資料として活用できるようにするため各種ガイドブックを作成することとしており，今年度は，「屋久島地質ガイド」を改訂した。

(3) ネットワーク形成

① ボランティアネットワークの形成

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を環境文化ボランティアとして、登録を行った。(ボランティア登録者数 30人(28年3月末現在))
また、ボランティアの参加を得て、次の活動を行った。

〈ボランティアの活動状況〉

開催日	活動内容
5月10日	自然に親しむ集い
6月6日	世界環境デーinいなか浜
6月20日	研修センターオープンデー
7月26日	村セン祭り(自然工作・バスボム作り)
9月13日	伊藤園「おいしいお茶の入れ方セミナー」
2月17日	屋久島山岳部保全募金PR缶バッチ制作

イ 企業ボランティアの活動

開催日	活動内容	参加者	主催者
9月12日 ～13日	・白谷雲水峡歩道・手摺清掃作業 ・春田浜海岸清掃 ・おいしいお茶の入れ方セミナー	11人 11人 35人	財団, (株)伊藤園, ボランティア

ウ 屋久島環境ボランティア活動支援事業

屋久島環境文化村構想に基づく自然と共生する地域づくりを推進するために、屋久島内に在するボランティア団体, グループ等が行う活動に対し、必要な経費の一部の支援を行った。

団体名	事業内容
屋久島国立公園パークボランティアの会	国立公園内の美化清掃動植物の保護など

② 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、島内の関係機関(学校, 屋久島事務所)などやイオンモール鹿児島(7月3日～5日)で勧誘活動を行い、入会を図った。

ファンクラブ会員数	811人	(28年3月末現在)
27年度新規加入者数	149人	

[参考:平成27年3月末会員数:922人]

③ 財団情報の発信誌発行

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(3,000部/号)
全国の屋久島ファンクラブ会員に対して, 屋久島の情報を提供した。

号 数	発 行 時 期	内 容
第60号	平成27年7月	「屋久島の法華宗と一品法寿大権現」 ／ 屋久島里めぐり
第61号	平成27年11月	「口永良部島の自然」／屋久島の里めぐり
第62号	平成28年3月	「屋久島の海岸植物」／屋久島の里めぐり

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部/月)
毎月1回島内の全戸に配布し, 財団の活動状況を紹介するとともに, 中核施設への来館, イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

④ 研究者ネットワークの形成

屋久島島民や来島した研究者等への情報提供を行うとともに, 研究者等による調査・研究内容を島民に紹介する場(屋久島研究講座等)を設け, 地元への還元を図った。

(4) 屋久島地域づくり支援

① 里のエコツアー推進事業

広く全国から参加者を募り, 自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを7月に口永良部島で実施予定だったが, 5月の新岳噴火による被害で中止した。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	延 べ 参加者
のんびりゆったり 里のエコツアー (口永良部島)	(噴火による被害で中止)	7月18日～19日	—

<参考：屋久島里めぐり推進協議会実施分>

- 主 体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- 目 的：屋久島の山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- 参加集落：吉田，宮之浦，春牧，平内，中間，永田，一湊（7集落）

○実 績：参加者数 (単位：人，()は受入回数)

	吉 田	宮之浦	春 牧	平 内	中 間	永 田	一 湊	計	備 考
24年度	57 (5)	53 (4)	25 (3)	23 (2)	16 (2)	—	—	174 (16)	ホームページの開設
25年度	10 (5)	62(10)	147(18)	31 (4)	32 (4)	—	—	282 (41)	
26年度	80(19)	166(47)	101(24)	36 (4)	62 (7)	—	—	445(101)	
27年度	99(19)	200(45)	194(38)	11 (1)	35(9)	67(17)	71(9)	677(138)	永田，一湊集落が加入
計	246(48)	481(106)	467(83)	101(11)	145(22)	67(17)	71(9)	1,578(296)	

② 屋久島の里の持続可能な利用形態構築助成事業

愛・地球博成果継承発展助成事業（一般社団法人 地球産業文化研究所）を活用し，自然・文化・歴史などの地域資源や伝統文化を保全し，地域資源の持続的な活用をすることにより，環境に配慮した新しい社会行動のシステムを構築するため，各種事業を行った。

- ・屋久島各集落の伝統文化記録・魅力調査（7集落）
- ・語り部研修（島外研修2回（枕崎市，鹿児島市，奄美大島），島内研修2回）
- ・里を中心とした環境学習プログラムの作成
- ・旧跡・名所説明看板作成（7集落×3基）
- ・「里のエコツアー」リーフレット（A3版二つ折り，A4版三つ折り）の作成
- ・「里のエコツアー」モニターツアーの実施（11回実施 延べ145名参加）

③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

里めぐり推進協議会参加集落で食事の提供を実施または計画をしている集落において課題を抽出し，必要な研修会などの支援策を計画するため，専門家を招聘し意見交換会を実施した。（2月23日 参加集落：吉田・永田・一湊・中間）

④ 環境文化芸術・スポーツ活動等支援事業

伝統文化の保存活動やスポーツ活動を行っている団体や地域づくりを支援するためにイベントや地域活動に対し，支援を行った。

実施主体	事業の名称	実施期間
黒飛 淳	カミガミのいる風景 ～屋久島カミさま廻り絵図～	4月15日～3月14日
屋久島ご神山祭り実行委員会	第34回屋久島ご神山祭り	8月1日～8月2日
屋久島フォトフェスティバル実行委員会	Y.P.F ‘My Town Photo workshop’ －「私の好きな景色」「後世まで 大切にしたい景色」－	7月2日～11月7日
口永良部島ガイド協会	口永良部島写真展	10月5日～12月26日
屋久島夢祭り実行委員会	屋久島夢祭り	11月7日
サイクリング屋久島大会	2016サイクリング屋久島	2月21日
計	6団体	

(5) 国際交流

① 日新交流支援事業（22年度～，6回目）

屋久島町が姉妹木盟約を締結しているニュージーランドのファーノース及びカイパラ地区との相互交流を図るため、島内中学・高校生が渡航する際に必要な経費の一部の支援を行った。

（平成27年度実績：7月31日～8月13日，中学生3名，高校生3名）

② 留学生ホームステイ受入事業（24年度～，4回目）

鹿児島大学に留学中の外国人（17名）が屋久島でのホームステイを通して文化や暮らしを体験しながら、島民とのふれあいを通して異文化交流を図った。

（平成27年度実績：8月29日～8月31日）

2 中核施設管理運営事業

(1) 中核施設管理運営

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

また、両施設の利用者増を図るため、利用促進施策を実施した。

① 環境文化村センター管理運営

＜利用促進＞

- ・利用客の増加を図るため、無料無線ネットワーク接続「W i - F i」の接続エリアを拡大するとともに、「W i - F i」接続が可能であることを告知する幟旗を設置した。
- ・（公社）屋久島観光協会の宮之浦港案内所を館内に移設し、観光客の多様なニーズに応えた。
- ・個人利用者の増加を図るため、宮之浦港の高速船及びフェリー乗り場で到着時に村センターパンフレット等を配付しながら誘客を図った。
- ・外国人対応のため、村センターパンフレットの英語版をリニューアルした。
- ・県外航空路線のある福岡地区のエージェント訪問を実施（3月）し、誘客を図った。

ア 開館19周年記念事業

〈村センター〉

内 容	開 催 日	延べ参加者
島民感謝デー（無料観覧）	7月13日～31日	232人
オリジナルうちわ作り&かんたん工作体験	7月27日	200人
映画会Ⅰ「ANNIE アニー」（2回上映）	7月25日	191人
映画会Ⅱ「モンスターズ・ユニバーシティ」（2回上映）	7月27日	410人
計	4回	1,033人

イ 交流ホール展示

内 容	開 催 日	備 考
川端隆二個展	5月8日～5月12日	
神山小学校4年生「屋久島ESD」新聞展示	5月14日～6月14日	
大坪裕美写真展「屋久島の里」	7月26日～8月31日	特別企画展
環境省九州地区アクティブレンジャー写真展	9月2日～9月30日	
屋久島フォトグラフィフェスティバル	10月6日～10月29日	
屋久島レクリエーションの森小・中学校作文展	11月4日～11月18日	
口永良部島写真展	11月29日～12月19日	
林芙美子と屋久島 ～「浮雲」の舞台を訪ねて～	1月10日～2月14日	特別企画展
屋久島・ヒマラヤ山岳写真展	3月20日～5月9日	
計	9回	

ウ 屋久島環境文化村センターの状況

【入館者数】

(単位：人)

区 分	25年度	26年度	27年度	対前年度比
入 館 者 数	64,212	62,648	75,026	119.8%
うち有料観覧者数	24,405	25,743	22,650	88.0%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	25年度	26年度	27年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	53回(60日)	43回(45日)	46回(55日)
交流ホール	7回(103日)	4回(81日)	7回(179日)
大型映像ホール	1回(1日)	1回(1日)	3回(3日)

② 環境文化研修センター管理運営

<利用促進>

- ・次年度、主に冬季の研修センター利用促進対策として県内の高等学校、教育委員会、福岡県等九州管内のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）等を訪問し、研修センターの環境学習プログラムを紹介して施設利用率の向上を図った。
- ・冬季対策として島内の未就学児の親子を対象とした1日研修・宿泊研修などを行った。

ア 開館19周年記念事業

〈研修センター〉（再掲）

内 容	開 催 日	延べ参加者
理科実験・シロアリ実験・木工クラフト・スライム作り・タンカンクリーム作り	6月20日	179人

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

(単位：人)

区 分	25年度	26年度	27年度	対前年度比
利 用 者 数	6,453	6,049	7,349	121.5%

【その他施設の利用状況】

施 設 名	25年度	26年度	27年度
	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	0回(0日間)	2回(2日間)	3回(3日間)
レクチャー室	2回(2日間)	0回(0日間)	0回(0日間)

③ 中核施設ホームページ管理運用と情報発信

ウェブサイトの適正な管理運用を行うとともに、フェイスブックを活用して日々新しい屋久島や財団の情報発信に努めた。

また、ホームページ上で、屋久島ファンクラブの加入・更新や財団グッズ等の販売、寄付金の申込等を行えるシステムを構築した。（運用開始日：平成28年4月4日）

【収益事業会計】

書籍物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、各種屋久島環境文化財団オリジナルグッズ(ボールペン、てぬぐい、携帯ストラップ、クオカード等)や屋久島関連書籍等の販売を行った。

【法人会計】

管理費

1 本部管理費

(1) 理事会・評議員会の開催

- ・財団の理事会(3回)、評議員会(2回)を開催し、各会において財団の諸課題等について協議した。
- ・公益財団法人として、自立的運営能力向上を図るため、引き続き基本財産の適正運用に努めた。

(2) 管理運営の改善

- ・財団の効率的な管理運営に努めるとともに、収入増を図るため、寄付金募集チラシの配付や賛助企業の拡大に向けて、出郷者の多い近畿地区(9月15日)や福岡地区(10月1日)での企業訪問等を行った。
- ・出郷者会(中部屋久島会：4月19日)において財団活動報告等を行った。

2 職員スキルアップ事業

研修課インストラクターを対象に、自然観察指導員講習会、PADIレスキューダイバー・コース講習、Wilderness First Aid (WFA) ベーシックコース、自然体験活動総括指導者養成講習の参加費用及び旅費の補助を行った。